

フー下

## 三重県独自の調査様式による性感染症サーベイランスの有効性 ～年2か月間の拡大サーベイランス結果について～

福田美和，高橋裕明，奈良谷性子，山内昭則

### The Effectiveness of STI Surveillance by a New Form Originated from Mie Prefecture

#### — The Results of Expanded Surveillance for Two Months —

Miwa FUKUTA, Hiroaki TAKAHASHI, Sagako NARAYA and Akinori YAMAUCHI

三重県では，平成19～21年にかけて実施した性感染症4疾患患者全数把握調査結果を踏まえ，近年の性行動の多様性に対応し，有効な予防対策に資することを目的に，県独自の調査様式による新たなSTD定点サーベイランスを平成24年1月から開始している．本定点サーベイランスのさらなる改善のため，報告対象機関を拡大したサーベイランスを平成24年9～10月の2ヶ月間のみ実施したところ，53機関（皮膚・泌尿器科系30機関，産婦人科系23機関）から協力が得られ，2か月間の患者報告数は263人（男114人，女149人），うち無症状病原体保有者は49人（男11人，女38人）であった．この拡大調査により，各疾患の年齢構成や受診契機などの傾向には大きな違いがなく，定点サーベイランスに一定の妥当性が確認されたほか，定点サーベイランスでこれまで報告されなかった淋菌の咽頭感染例の報告もみられ，無症状病原体保有者，咽頭感染，混合感染の把握に有効であることが確認できた．両者の結果から，さらなる実態把握と感染拡大防止に繋げるには，パートナー健診に積極的に取り組む機関の一層の拡大，潜在する咽頭感染例や無症状病原体保有者を顕在化する検査の推進などが必要と考えられた．

キーワード：性感染症，サーベイランス，無症状病原体保有者，パートナー健診，咽頭感染

#### はじめに

「感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律」および「感染症発生動向調査事業実施要綱」に基づく性感染症4疾患（性器クラミジア感染症，性器ヘルペスウイルス感染症，尖圭コンジローマ，淋菌感染症）の定点医療機関によるサーベイランスは，その発生・まん延の状況を明らかにするとともに，防止対策に必要な科学的根拠を提供する手段として実施されているが，厚生労働省告示「性感染症に関する特定感染

症予防指針」<sup>1)</sup>では，若年層における発生の割合が高いことや性行動の多様化による咽頭感染の増加を踏まえた対策，無症状病原体保有者の存在を考慮した追加調査等の重要性が指摘されている．

一方，三重県においては，平成19～21年にかけて性感染症4疾患患者全数把握調査を実施し，若年層の感染の実態やパートナー健診の重要性を確認した<sup>2)</sup>．この結果を踏まえ，近年の性行動の多様性に対応し，有効な予防対策に資することを

表 1 三重県独自の調査様式による拡大サーベイランス患者情報（平成 24 年 9～10 月）

疾患名	性	年齢階級別患者数													受診契機*					その他の状況**											
		0   9	10   14	15   19	20   24	25   29	30   34	35   39	40   44	45   49	50   54	55   59	60   64	65   69	70   以上	計	有 症 状	が バ ー ト ナ ー が 有 症 状	妊 婦 健 診	人 工 妊 娠 中 絶	自 己 検 査 陽 性	そ の 他	性 的 接 触	同 性 的 接 触	C S W * *	C S W * との 接 触	コ ン ド ー ム 不 使 用	が バ ー ト ナ ー 複 数			
有 症 状	性器クラミジア感染症	男		2	7	4	5	5	5	4	3	1	1	1		38	25	1									14		9	9	1
	性器クラミジア感染症	女	2	4	19	17	14	3	2	3	2					66	43	4	2	1	1	5				33	3		3	1	
	咽頭クラミジア感染症	男														0															
	咽頭クラミジア感染症	女														0															
	性器ヘルペスウイルス感染症	男		1			2	6	1	1		1	1			13	8	1									4		4	2	
	性器ヘルペスウイルス感染症	女	1	4	6	3	4	1	1	2						22	17										5				
	尖圭コンジローマ	男		1	3	1	1	2	3	5						18	3										1		1	1	
	尖圭コンジローマ	女	1	4	3	1	2	1	2							15	6		1							1					
淋菌感染症(咽頭を除く)	男		1	6	3	5	9	4	3	3					34	22										15		9	5		
淋菌感染症(咽頭を除く)	女	1		1											2	2										1					
淋菌感染症(咽頭)	男														0																
淋菌感染症(咽頭)	女														1																
小 計	男	0	0	5	13	10	13	21	12	11	11	2	2	3	0	103	58	2	0	0	0	0				34	0	0	23	17	1
	女	0	2	7	27	27	19	9	4	6	4	0	0	1	0	106	69	4	3	1	1	6				43	0	5	0	3	1
無 症 状	性器クラミジア感染症	男			3	1	5	1	1						11		7									6		2	1		
	性器クラミジア感染症	女		6	8	7	5	6	3						35		5	8	2		9					9	2			3	
	咽頭クラミジア感染症	男													0																
	咽頭クラミジア感染症	女													0																
	淋菌感染症(咽頭を除く)	男				2		1							3		2									1					
淋菌感染症(咽頭を除く)	女													0																	
淋菌感染症(咽頭)	男													0																	
淋菌感染症(咽頭)	女													0																	
小 計	男	0	0	0	3	1	5	1	1	0	0	0	0	0	11	0	7	0	0	0	2				6	0	0	2	1	0	
	女	0	0	6	8	9	5	7	3	0	0	0	0	0	38	0	7	8	2	0	9				10	0	2	0	0	3	
その他の感染症:膻トリコモナス	男			1	1	1		1	1					0		1	1								3						
その他の感染症:膻トリコモナス	女													5											2						
総 計	男	0	0	5	16	11	18	22	13	11	11	2	2	3	0	114	58	9	0	0	0	2				40	0	0	25	18	1
	女	0	2	14	36	37	24	17	8	6	4	0	0	1	0	149	70	12	11	3	1	17				56	0	7	0	3	4
再 掲	クラミジア・淋菌混合感染	男				1		1	1						3		3									1		2	2		
	クラミジア・淋菌混合感染	女													0																
	その他の混合感染	男			1										1		1									1					
	その他の混合感染	女				1	1		1						3		1	1								1	1				
混合感染 計	男	0	0	1	0	1	0	1	1	0	0	0	0	0	4	4	0	0	0	0	0					2	0	0	2	2	0
	女	0	0	0	1	1	0	1	0	0	0	0	0	0	3	1	1	0	0	0	1					1	0	1	0	0	0

\*泌尿器科13機関、皮膚科13機関、産婦人科23機関、その他の診療所(皮膚科を標榜)4機関からの報告数である。

※:「受診契機」及び「その他の状況」は無回答または複数回答を含むため患者数と一致しない。

※※:性風俗産業従事者

産婦人科系 7 機関) と合わせ、計 53 機関から 2 か月間で 263 人(男 114 人, 女 149 人) の患者報告があった。疾患別では性器クラミジア感染症が 150 人(有症状:男 38 人, 女 66 人, 無症状:男 11 人, 女 35 人) と最も多く、淋菌感染症が 40 人(有症状:男 34 人, 女 3 人(うち 1 人は咽頭感染)、無症状:女 3 人)、性器ヘルペスウイルス感染症が 35 人(男 13 人, 女 22 人)、尖圭コンジローマが 33 人(男 18 人, 女 15 人) の順で、その他の感染症として膻トリコモナス症が 5 人であった。混合感染例は男 4 人, 女 3 人(クラミジアと淋菌混合感染:男 3 人, その他の混合感染:男 1 人, 女 3 人) であった。

年齢階級別にみると、男性では、性器クラミジア感染症は 20 代前半、淋菌感染症、性器ヘルペスウイルス感染症は 30 代後半、尖圭コンジローマは 50 代前半と、疾患により好発年齢層にばらつきがあったのに対し、女性では各疾患で 20 代が中心であった。20 歳未満は、男 4% (5 人/114 人) に対し、女 11% (16 人/149 人, うち 2 人は 10 代前半) で、これらのうち女性の性器クラミジア感染症の半数(6 人/12 人)は無症状であった。

咽頭感染について、性器クラミジア感染症の報告はなかったが、淋菌感染症は産婦人科系医療機

関から有症状者 1 人の報告があった。

性器クラミジア感染症について、男性の無症状者は 22% (11 人/49 人) で、その“受診契機”の記載があったものについては「パートナーが有症状」が 7 人、そのうち 4 人は産婦人科系医療機関(うち、3 人は同一機関)からの報告であった。女性の無症状者は 35% (35 人/101 人) で、その“受診契機”は「妊婦健診」が 8 人、「パートナーが有症状」が 5 人(うち、1 人は泌尿器科系機関からの報告)、「人工妊娠中絶」が 2 人で、「その他」の 9 人には不妊治療が 2 人含まれていた。

また、検査数は、泌尿器科系ではクラミジア 40 件に対し淋菌 30 件、産婦人科系ではクラミジア 1078 件に対し淋菌 141 件で、産婦人科系における淋菌の検査実施数はクラミジアの 1/8 程度と少なかった。梅毒は 1030 件(泌尿器科系 275 件, 産婦人科系 755 件)、HIV は 693 件(泌尿器科系 6 件, 産婦人科系 687 件)であった。

男性における“その他の状況”への回答は、「CSW との接触」22% (25 人/114 人)、「コンドーム不使用」16% (18 人/114 人) が多かったが、「CSW との接触」は 10~20 代では 1 人のみで、30~40 代が 20 人と多くを占めた。「同性間性的接触」の報告はなかった(表 4)。



三重県感染症情報センター宛(フリーダイヤルFAX番号: 0120-\*\*\*\*\*)

医療機関名						受診者数	検査数				性感染症の患者を診断されなかった場合は、□にレ点を記入し、報告をお願いします。 報告例なし □														
						人	クラミジア	梅毒	淋菌	HIV	次の項目で該当するものがあれば番号に○を付けてください。														
患者番号	性	年齢	配偶者または同居者について該当する方を○で囲んでください。	国籍	住所	疾患名 (該当する欄に有症状は○を、無症状の場合は□にレ点を記入してください。)				①その他の疾患 (注2)					②受診契機					③その他の状況					
						性器クラミジア感染症 (注1)検査陽性例	性器ヘルペスウイルス感染症 (再感染届出不要)	尖圭コンジローマ	淋菌感染症 (注1)検査陽性例	性器・血清	咽頭	性器・眼	咽頭	1: 膣トリコモナス症	2: ケジラミ症	3: 梅毒	4: HIV感染症/AIDS	5: HPV感染	1: 有症状	2: パートナーが有症状	3: 妊婦健診	4: 人工妊娠中絶	5: キット等自己検査陽性	6: その他( )	1: 異性間性的接触
1	男女		有 無	日本 外国		無症状 □	無症状 □			無症状 □	無症状 □			1 2 3 4 5	1 2 3 4 5 6	1 2 3 4 5 6	1 2 3 4 5 6								
2	男女		有 無	日本 外国		無症状 □	無症状 □			無症状 □	無症状 □			1 2 3 4 5	1 2 3 4 5 6	1 2 3 4 5 6	1 2 3 4 5 6								
3	男女		有 無	日本 外国		無症状 □	無症状 □			無症状 □	無症状 □			1 2 3 4 5	1 2 3 4 5 6	1 2 3 4 5 6	1 2 3 4 5 6								
4	男女		有 無	日本 外国		無症状 □	無症状 □			無症状 □	無症状 □			1 2 3 4 5	1 2 3 4 5 6	1 2 3 4 5 6	1 2 3 4 5 6								
5	男女		有 無	日本 外国		無症状 □	無症状 □			無症状 □	無症状 □			1 2 3 4 5	1 2 3 4 5 6	1 2 3 4 5 6	1 2 3 4 5 6								
6	男女		有 無	日本 外国		無症状 □	無症状 □			無症状 □	無症状 □			1 2 3 4 5	1 2 3 4 5 6	1 2 3 4 5 6	1 2 3 4 5 6								
7	男女		有 無	日本 外国		無症状 □	無症状 □			無症状 □	無症状 □			1 2 3 4 5	1 2 3 4 5 6	1 2 3 4 5 6	1 2 3 4 5 6								
8	男女		有 無	日本 外国		無症状 □	無症状 □			無症状 □	無症状 □			1 2 3 4 5	1 2 3 4 5 6	1 2 3 4 5 6	1 2 3 4 5 6								
9	男女		有 無	日本 外国		無症状 □	無症状 □			無症状 □	無症状 □			1 2 3 4 5	1 2 3 4 5 6	1 2 3 4 5 6	1 2 3 4 5 6								
0	男女		有 無	日本 外国		無症状 □	無症状 □			無症状 □	無症状 □			1 2 3 4 5	1 2 3 4 5 6	1 2 3 4 5 6	1 2 3 4 5 6								

特記事項(特徴的な事例、患者に関する特記事項等があれば、ご記入ください。)

注1) 性器クラミジア感染症、淋菌感染症について  
 ●報告は、届出基準にある臨床的特徴を有し、かつ下記の検査陽性の患者の他、無症状の患者も届出をお願いします。  
 ●性器クラミジア感染症: 次の(1)の①~③、(2)の①~②のいずれかに該当する検査所見を認めるもの  
 (1)検査材料が尿道、性器から採取した材料の場合、又は咽頭ぬぐい液の場合  
 ①分離・同定による病原体の検出 ②蛍光抗体法又は酵素抗体法による病原体抗原の検出 ③PCR法による病原体遺伝子の検出  
 (2)検査材料が血清の場合  
 ①ペア血清による抗体陽転又は抗体価の有意の上昇 ②単一血清で抗体価の高値  
 ●淋菌感染症: 尿道、性器から採取した材料、眼分泌物、咽頭拭い液で次の①~⑤のいずれかに該当する検査所見を認めるもの  
 ①分離・同定による病原体の検出 ②鏡検による病原体の検出 ③蛍光抗体法による病原体抗原の検出 ④酵素抗体法による病原体抗原の検出 ⑤PCR法による病原体遺伝子の検出  
 注2) 後天性免疫不全症候群および梅毒は5類感染症全数把握疾患に定められており、患者及び無症状病原体保有者を診断した医師は7日以内に最寄りの保健所に届け出ることとなっています。  
 注3) 用紙が不足する場合は2枚目にご記入をお願いします。

図 1. 三重県独自の性感染症 4 疾患患者報告様式

目的に、半期毎に開催する三重県感染症発生動向調査企画委員会の意見を聴いて、県独自の調査様式を作成し、平成 24 年 1 月から新たな STD 定点サーベイランスを開始した。今回、これらの取り組みの有効性を検証し、さらなる改善の資料を得るため、報告対象機関を過去の全数把握調査に協力が得られた機関等に拡大して年 2 か月間のサーベイランスを実施した(以下、「拡大サーベイランス」という)ので、その概要を報告する。

方 法

調査期間は、平成 24 年 9 月から 10 月の 2 か月間とした。

報告は、定点の 17 機関に加え、事前アンケートにて協力可能と回答された 64 機関および過去の全数把握調査で年間 10 回(10 ヶ月)以上かつ 25 人以上の患者発生が報告された 15 機関の計 96 機関(皮膚・泌尿器科系 58 機関、産婦人科系 38 機関)に協力依頼した。

調査様式は、三重県における STD 定点サーベイランスで平成 24 年 1 月から用いているものと同様とした。すなわち、医療機関全体の来院者数とクラミジア、淋菌、梅毒および HIV の検査件数を記入し、患者についてはケースごとに性、年齢、配偶者の有無、国籍、住居地、疾患名(性器クラ

ミジアと淋菌感染症は無症状病原体保有者、咽頭感染の項目を追加)、その他の疾患(膣トリコモナス症等)、受診契機(パートナーが有症状、妊婦健診等)、その他の状況(性風俗産業従事者(Commercial sex worker: CSW)との接触、コンドーム不使用等)を選択又は記入することとした(図 1)。

各医療機関は、1 ヶ月毎に結果を記入した調査票をファクシミリにより県感染症情報センターあてに報告することとした。同センターは、調査票をもとにデータベース様式の Microsoft Excel ファイルに入力し、集計・解析を行い、定点医療機関分については、NESID による月報データ入力のため、国の様式に転記したファイルを作成し、所管保健所に e-メールで送信することとした。

結 果

2 ヶ月間の患者報告数を表 1 に示した。また、診療科により、受診者の主な性別はもとより受診に至る背景も異なるため、同様の形式で皮膚・泌尿器科系と産婦人科系に分けて集計した報告数を表 2、表 3 に示した。

協力依頼した 96 機関中 36 機関(皮膚・泌尿器科系 20 機関、産婦人科系 16 機関)から協力が得られ、定点の 17 機関(皮膚・泌尿器科系 10 機関、

表2 三重県独自の調査様式による拡大サーベイランス患者情報（平成24年9～10月）：皮膚・泌尿器科系

疾患名	性	年齢階級別患者数													受診契機**						その他の状況**																																																																																					
		0	10	15	20	25	30	35	40	45	50	55	60	65	70	計	有症状	がバ イ ト ナ ー	妊 婦 健 診	人 工 妊 娠 中 絶	自 己 検 査 陽 性	そ の 他	性 的 接 触	性 同 性 接 触	性 同 性 接 触	C S W ※	C S W ※	不 使 用 の ム	コ ン ド ム	バ イ ト ナ ー																																																																												
		9	14	19	24	29	34	39	44	49	54	59	64	69	以上																																																																																											
有 症 状	性器クラミジア感染症	男		2	7	4	5	5	5	4	3	1	1	1	38	58	2	0	0	0	0	0	14	0	0	9	9	1																																																																														
	咽頭クラミジア感染症	男													0														0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0																																																																		
	性器ヘルペスウイルス感染症	男		1			2	6	1	1		1	1		13																										8	1	0	0	0	0	0	0	0	4	0	4	2																																																					
	尖圭コンジローマ	男		1		3	1	1	2	3	5			2	18																																							3	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	1																																									
	淋菌感染症(咽頭を除く)	男		1	6	3	5	9	4	3	3				34																																																			22	0	0	0	0	0	0	0	0	15	9	5																													
	淋菌感染症(咽頭)	男													0																																																															0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0																	
	小計	男	0	0	5	13	10	13	21	12	11	11	2	2	3																																																																											0	103	58	2	0	0	0	0	0	0	0	34	0	0	23	17	1
		女	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0																																																																											0	0															
無 症 状	性器クラミジア感染症	男			2		2							4	0	3	0	0	0	0	1	3	0	0	1	1	0																																																																															
	咽頭クラミジア感染症	男			1									1														0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0																																																																			
	淋菌感染症(咽頭を除く)	男																																						0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0																																																							
	淋菌感染症(咽頭)	男																																						0												0	0	0	0	0	0	0	0	0	0																																													
	小計	男	0	0	0	2	0	2	0	0	0	0	0	0																										4																						0	3	0	0	0	0	1	3	0	0	1	1	0																																
	女	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0																																																																															
その他の感染症:膣トリコモナス	男													0														58	5	0	0	0	0	1	37	0	0	24	18	1																																																																		
総計	男	0	0	5	15	10	15	21	12	11	11	2	2	3																											0	107	58	5	0	0	0	1	37	0	0																								24	18	1																													
	女	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0																											1	0										1	0	0	0	0	0	1	0	0	0																	0																												
再 掲	クラミジア・淋菌混合感染	男				1		1	1					3																											3																					0	0	0	0	0	0	1	2	2	0																																			
	その他の混合感染	男			1									1	1	0	0	0	0	0	0	1	0	0																																																																																		
	混合感染計	男	0	0	1	0	1	0	1	1	0	0	0	0											4	4	0	0	0	0	0	0	2	0	2	0																																																																						
	女	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0											0												0	0	0	0	0		0	0	0	0	0																																																											

\*泌尿器科13機関、皮膚科13機関、その他の診療所(皮膚科を標榜)4機関からの報告数である。  
 ※：「受診契機」及び「その他の状況」は無回答または複数回答を含むため患者数と一致しない。  
 ※※：性風俗産業従事者

表3 三重県独自の調査様式による拡大サーベイランス患者情報（平成24年9～10月）：産婦人科系

疾患名	性	年齢階級別患者数													受診契機**						その他の状況**																																																																									
		0	10	15	20	25	30	35	40	45	50	55	60	65	70	計	有症状	がバ イ ト ナ ー	妊 婦 健 診	人 工 妊 娠 中 絶	自 己 検 査 陽 性	そ の 他	性 的 接 触	性 同 性 接 触	性 同 性 接 触	C S W ※	C S W ※	不 使 用 の ム	コ ン ド ム	バ イ ト ナ ー																																																																
		9	14	19	24	29	34	39	44	49	54	59	64	69	以上																																																																															
有 症 状	性器クラミジア感染症	男													0	66	43	4	2	1	1	5	33	3	3	1																																																																				
	咽頭クラミジア感染症	男													0												0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0																																																									
	性器ヘルペスウイルス感染症	男			1	4	6	3	4	1	1	2			22																							17	0	0	0	0	0	0	0	0	5	0	0																																													
	尖圭コンジローマ	男			1	4	3	1	2	1	2			1	15																																			6	1	0	0	0	0	0	0	1	4	1																																		
	淋菌感染症(咽頭を除く)	男			1		1								2																																														2	0	0	0	0	0	0	0	1	0																								
	淋菌感染症(咽頭)	男													0																																																								1	0	0	0	0	0	0	0	0	0														
	小計	男	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0																																																																		0	69	4	3	1	1	6	43	0	5	0	3	1	
		女	0	2	7	27	27	19	9	4	6	4	0	0	1																																																																		0													106
無 症 状	性器クラミジア感染症	男			6	7	7	5	6	3				34	4	8	2	1	9	3	8	2	1	3	0	1																																																							3													
	咽頭クラミジア感染症	男																									0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0																																																									
	淋菌感染症(咽頭を除く)	男					2		1					3													2											0	0	0	0	0	0	0	1	0																																																
	淋菌感染症(咽頭)	男																																													0	0	0	0	0	0	0	0	0	0																																						
	小計	男	0	0	0	1	1	3	1	1	0	0	0	0																																	7										0	4	0	0	0	1	3	0	0	1	0	0																										
	女	0	0	6	7	9	5	7	3	0	0	0	0	37	0	6	8	2	0	9	9	0	2	0	0	3																																																																				
その他の感染症:膣トリコモナス	男			1	1	1		1	1					5														1	1	0	0	0	2	3	0	0	1										0																						0																									
総計	男	0	0	0	1	1	3	1	1	0	0	0	0	7													70											11	11	3	1	17	55	0	7	0																								3	4																							
	女	0	2	14	35	37	24	17	8	6	4	0	0	1																																		0	148	70	11	11	3	1	17	55																0	7	0	3	4																		
再 掲	クラミジア・淋菌混合感染	男												0																																		0	0								0	0	0	0	0	1	1	0	0	0																												
	その他の混合感染	男					1	1		1				3	1	1	0	0	0	0	0	1	1	0	0																																																																					
	混合感染計	男	0	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0												3		0	1	1	0	0	0	0	1	1	0										0																																															
	女	0	0	0	1	1	0	1	0	0	0	0	0	0												0	1											0	0	0	0	0	1	0	1	0																																																

\*産婦人科23機関からの報告数である。  
 ※：「受診契機」及び「その他の状況」は無回答または複数回答を含むため患者数と一致しない。  
 ※※：性風俗産業従事者

表 4 拡大サーベイランスによる診療科区分別 年齢階級と受診契機およびその他の状況

		年 齢 階 級														不明	総計	
性		10   14	15   19	20   24	25   29	30   34	35   39	40   44	45   49	50   54	55   59	60   64	65   69	70   以上				
定点医療機関 (皮膚・泌尿器科系)	自覚症状有り	男		6	25	14	27	21	12	17	5	3	2		1	133		
		女														0		
	パートナーが有症状	男			3	2	2									7		
		女							1							1		
	受診契機	妊婦健診	男													0		
		女														0		
	人工妊娠中絶	男														0		
		女														0		
	自己検査陽性	男														0		
		女														0		
	その他	男					1									1		
		女														0		
	定点医療機関 (産婦人科系)	異性間性的接触	男		6	21	9	16	6	1	4	2	1	2		68		
			女								1					1		
同性間性的接触		男		1	1										2			
		女													0			
性風俗産業従事者 (GSW)		男													0			
		女													0			
GSWとの接触		男			5	4	16	15	10	12	5	3			70			
		女													0			
コンドーム不使用		男		3	13	8	21	18	10	13	5	1			92			
		女													0			
パートナーが複数		男		1	2	3	2			1					9			
		女													0			
		年 齢 階 級														不明	総計	
性		10   14	15   19	20   24	25   29	30   34	35   39	40   44	45   49	50   54	55   59	60   64	65   69	70   以上				
定点医療機関 (産婦人科系)	自覚症状有り	男													0			
		女		10	22	23	16	8	5	4	5	2		1	1	97		
	パートナーが有症状	男				1									1			
		女		3	5	5	1	4	1	1		1			21			
	受診契機	妊婦健診	男												0			
		女		7	10	10	3	2	1						33			
	人工妊娠中絶	男													0			
		女		3	2		3	1							9			
	自己検査陽性	男													0			
		女					1	1							2			
	その他	男													0			
		女		1	1	1	2	5	2						12			
	定点医療機関 (産婦人科系)	異性間性的接触	男													0		
			女		15	25	29	18	12	1	3	1	2			106		
同性間性的接触		男													0			
		女													0			
性風俗産業従事者 (GSW)		男													0			
		女		2	1			1							4			
GSWとの接触		男													0			
		女													0			
コンドーム不使用		男													0			
		女		1	2	2	2								7			
パートナーが複数		男													0			
		女		1											1			



## 考 察

拡大サーベイランスの結果、定点の 17 機関に比較し、拡大して協力依頼した 36 機関では“検査件数”，“受診契機”，“その他の状況”などの詳細情報の記載数がやや少なかったものの、全体の傾向には大きな違いがなく、県独自の調査様式による定点サーベイランスに一定の妥当性が確認されたほか、定点サーベイランスでこれまで報告されなかった淋菌の咽頭感染例の報告もみられ、無症状病原体保有者、咽頭感染、混合感染の把握に有効であることが確認できた。また、診療科により、受診者の主な性別はもとより受診に至る背景も異なるため、皮膚・泌尿器科系と産婦人科系に分けて集計したところ、患者把握状況の違いが明らかとなった。特に、性器クラミジア感染症の有症状者と無症状者では男女とも年齢分布状況が異なり、受診に至る背景の違いを反映していることが窺われる結果であった。

性器クラミジア感染症における無症状者の割合をみると、女性では 35%であったのに対し、男性では 22%と少数に止まり、平成 19~21 年にかけて実施した性感染症 4 疾患患者全数把握調査結果と同様<sup>2)</sup>、報告が一部の医療機関に偏る傾向がみられた。パートナー健診の重要性は既に指摘されているところであるが<sup>3~5)</sup>、実施機関をさらに拡大するには、「性感染症に関する特定感染症予防指針」（平成 24 年改正）に沿った具体的な実施方法を検討する必要がある。

また、男性における“その他の状況”をみると、30~40 代で「CSW との接触」が多くを占めたことから、改めてそのリスクの周知を図る必要があると言えるが、10~20 代では「CSW との接触」の割合が少ないにもかかわらず多くの感染者が報告されたことから、若い世代における性感染症のまん延が示唆された。加えて、不妊治療を契機とする受診者から性器クラミジア感染症の無症状者が確認されていることから、少子化対策の一環としても無症状感染者の把握は重要であり、パートナー健診の勧奨は緊急の課題である。

検査数の報告をみると、淋菌の検査数は、産婦人科系ではクラミジアの 1/8 程度と少なく、女性の淋菌感染症の無症状者の把握が少数に止まる理由の一つと考えられた。また、他の調査で比較的多数が報告されている咽頭感染<sup>6~8)</sup>が淋菌感染症の有症状者 1 名に止まったのも、咽頭拭い液や

うがい液などの検査が実施されていないことが影響している可能性がある。これらのことは、淋菌感染症の無症状者が潜在している可能性を示しており、これを顕在化するための検査の推進などの対策が必要と考えられた。

今後も定期的に拡大サーベイランスを実施することにより、定点サーベイランスの検証と改善のみならず、県内医療機関における性感染症サーベイランスへの関心を高め、まん延防止に繋げていくことが望まれる。

## 文 献

- 1) 2012 年 1 月 19 日付 健感発 0119 第 1 号健康局結核感染症課長通知「性感染症に関する特定感染症予防指針の一部改正について」。
- 2) 山内昭則，高橋裕明，福田美和，大熊和行：三重県における 2007~2009 年度の全数サーベイランスによる性器クラミジア感染症，性器ヘルペス感染症，尖圭コンジローマおよび淋菌感染症の発生状況と今後の課題，日本性感染症学会誌，**22(1)**，73-88 (2011)。
- 3) 庄 武彦，濱砂良一，赤坂聡一郎，高橋康一，村谷哲郎，寺戸三千和，山田陽司，飯原清隆，西井久枝，藤本直浩，松本哲朗：北九州地区における性感染症の動向，日本性感染症学会誌，**22(1)**，56-61 (2011)。
- 4) 小島宗門，平山きふ，岡田晃一，兼光紀幸，三矢英輔，早瀬喜正：クラミジア陽性女性の男性パートナーにおけるクラミジアスクリーニング，日本性感染症学会誌，**14(1)**，82-84 (2003)。
- 5) 小島宗門，矢田康文，早瀬喜正：クラミジア陽性女性の無症状男性パートナーに対するクラミジア・スクリーニングと治療，日本性感染症学会誌，**22(1)**，94-98 (2011)。
- 6) 性感染症 診断・治療ガイドライン 2011，日本性感染症学会誌，**22(1)**，36-39 (2011)。
- 7) 佐藤寛子，柴田ちひろ，能登彩，能登舞，能登宏光：地方都市におけるオーラルセックス経験者の *N.gonorrhoeae* および *C.trachomatis* の検出状況，日本性感染症学会誌，**22(1)**，99-107 (2011)。
- 8) 石井亜矢乃，上原慎也，渡邊豊彦，狩山玲子，公文裕巳：淋菌性尿道炎患者での咽頭における淋菌の分離状況に関する検討，日本性感染症学会誌，**22(1)**，108-113 (2011)。